



平成20年10月31日

各 位

会 社 名 株式会社フライングガーデン
代 表 者 名 代表取締役社長 野沢八千万
(J A S D A Q ・ コード 3 3 1 7)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 常 務 取 締 役 白 岩 正 敏
管 理 本 部 長
(T E L : 0 2 8 5 - 3 0 - 4 1 2 9)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年5月12日の決算短信で公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想（第2四半期および通期）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、業績の低迷により将来キャッシュフローがマイナスと見込まれる17店舗につきまして当第2四半期に315百万円の減損損失を計上する見込みです。また、閉店等に伴う固定資産除却損等17百万円を計上する見込みです。

2. 業績予想数値の修正

(1) 第2四半期業績予想値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,628	113	97	35
今回修正予想 (B)	4,139	△35	△47	△253
増減額 (B - A)	△489	△148	△144	△288
増減率 (%)	△10.6	-	-	-
(ご参考)				
前期実績 (平成19年9月期)	4,116	96	85	13

(2) 通期業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	9,189	232	200	75
今回修正予想 (B)	8,263	37	16	△212
増減額 (B - A)	△926	△190	△185	△287
増減率 (%)	△10.1	△81.9	△92.5	-
(ご参考)				
前期実績 (平成20年3月期)	8,195	168	157	△31

3. 修正の理由

(1) 第2四半期業績予想の修正理由

売上高は当初予想に対し 489 百万円減少の 4,139 百万円となる見込みです。これは、原油価格の高騰による物価上昇や国内景気の先行き不透明感から消費者マインドの低下、及びガソリン価格の上昇に伴う出控えの影響により既存店の前年比が 94.9%になったためであります。

営業利益は当初予想に対し 148 百万円減少の 35 百万円の営業損失となる見込みです。これは経費削減に取り組んできましたが、売上高が予想を下回ったことが主な理由であります。

経常利益は当初予想に対し 144 百万円減少の 47 百万円の経常損失となる見込みです。これは、営業利益の減少が主な理由であります。

第2四半期純利益は、当初予想に対し 288 百万円減少の 253 百万円の第2四半期純損失となる見込みです。これは上記の特別損失を 332 百万円見込んでいるためであります。

(2) 通期業績予想の修正理由

下半期に関しましても、外食産業を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況で推移することが見込まれます。

当社におきましても、上半期に引き続いて消費者マインドの低下による来客数の減少等により、下半期も当初予想を下回る見込みであります。お客様のニーズに適した新メニューの投入や、個別店舗の現状に応じた販促を実施することで売上高増加に努めてまいります。

また、原価の見直しや業務の効率化による人件費の削減及び徹底した全社的な経費削減に取り組み、下半期から来期に向けての業績回復に努めてまいります。

以上の取り組みにより、通期の業績につきましては、売上高 8,263 百万円、営業利益 37 百万円、経常利益 16 百万円、当期純損失 212 百万円となる見込みです。

(注) この資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上